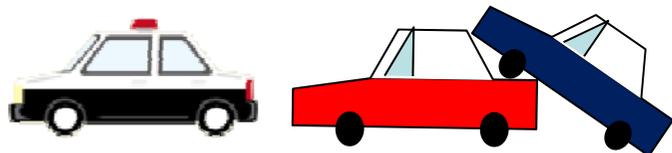


訓練番号②人命救助訓練、④緊急輸送路確保訓練

- 1) 緊急輸送路上(臨港道路)の被災車両から川崎市臨港消防署が負傷者を救助(川崎臨港警察署が周辺の規制・警戒にあたる)
- 2) 救助した負傷者を川崎DMATが応急処置を行い、神奈川県警航空隊及び川崎市消防局航空隊のヘリコプターが江東区有明の防災拠点まで救急搬送
- 3) 緊急物資輸送の障害となる車両を協定に基づきJAF神奈川支部が撤去、仮置き場所まで搬送

川崎臨港警察署が規制・警戒にあたる



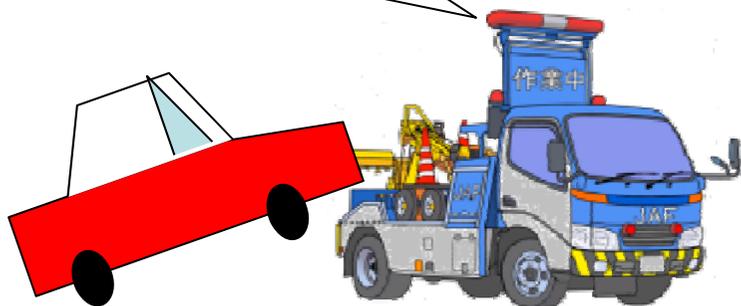
川崎市臨港消防署が被災車両から負傷者を救助



神奈川県警航空隊及び川崎市消防局航空隊のヘリコプターが江東区有明の防災拠点まで救急搬送



JAF神奈川支部が車両を撤去・搬送



川崎DMATが車両から救助した負傷者の応急処置にあたる



訓練番号③ 緊急確保航路啓開訓練



13:40頃～



緊急確保航路にコンテナが流出したことを想定して、埋立浚渫協会が障害物を撤去



べいくりん

緊急確保航路に大型の漂流物が流出したことを想定して、国交省千葉港湾事務所の清掃兼油回収船が漂流物を撤去

巡視艇 はまぐも
浮遊油拡散



べいさーち

緊急確保航路に油が浮いているとの想定で、「べいくりん」、横浜海上保安部巡視艇「はまぐも」が放水により油を拡散

漂流物撤去・浮遊油拡散後に国交省東京湾口航路事務所の航路調査船がナローマルチ(測深器)により航路の安全を確認

31号岸壁

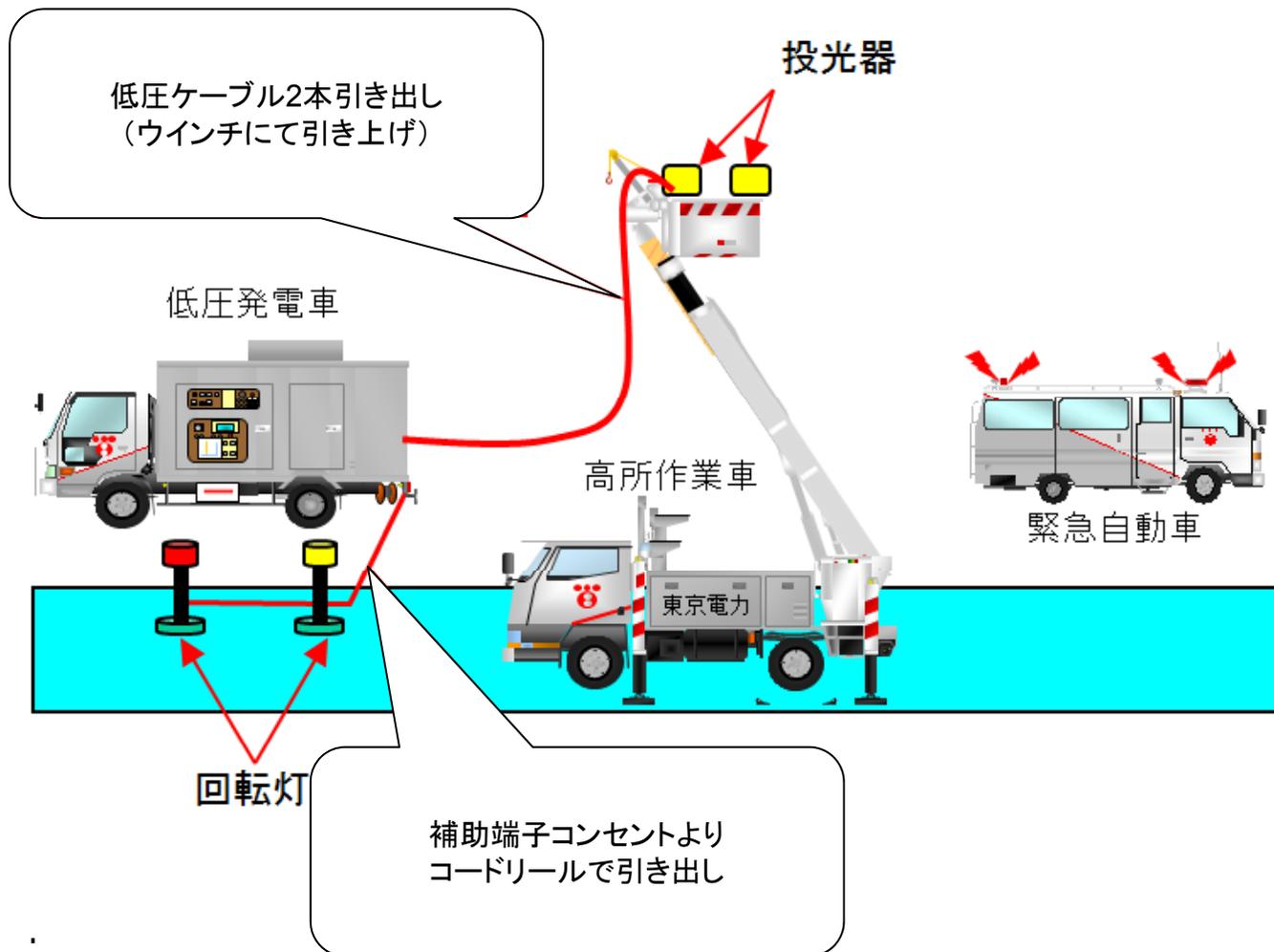
本部テント



訓練番号⑤ ライフライン応急復旧訓練

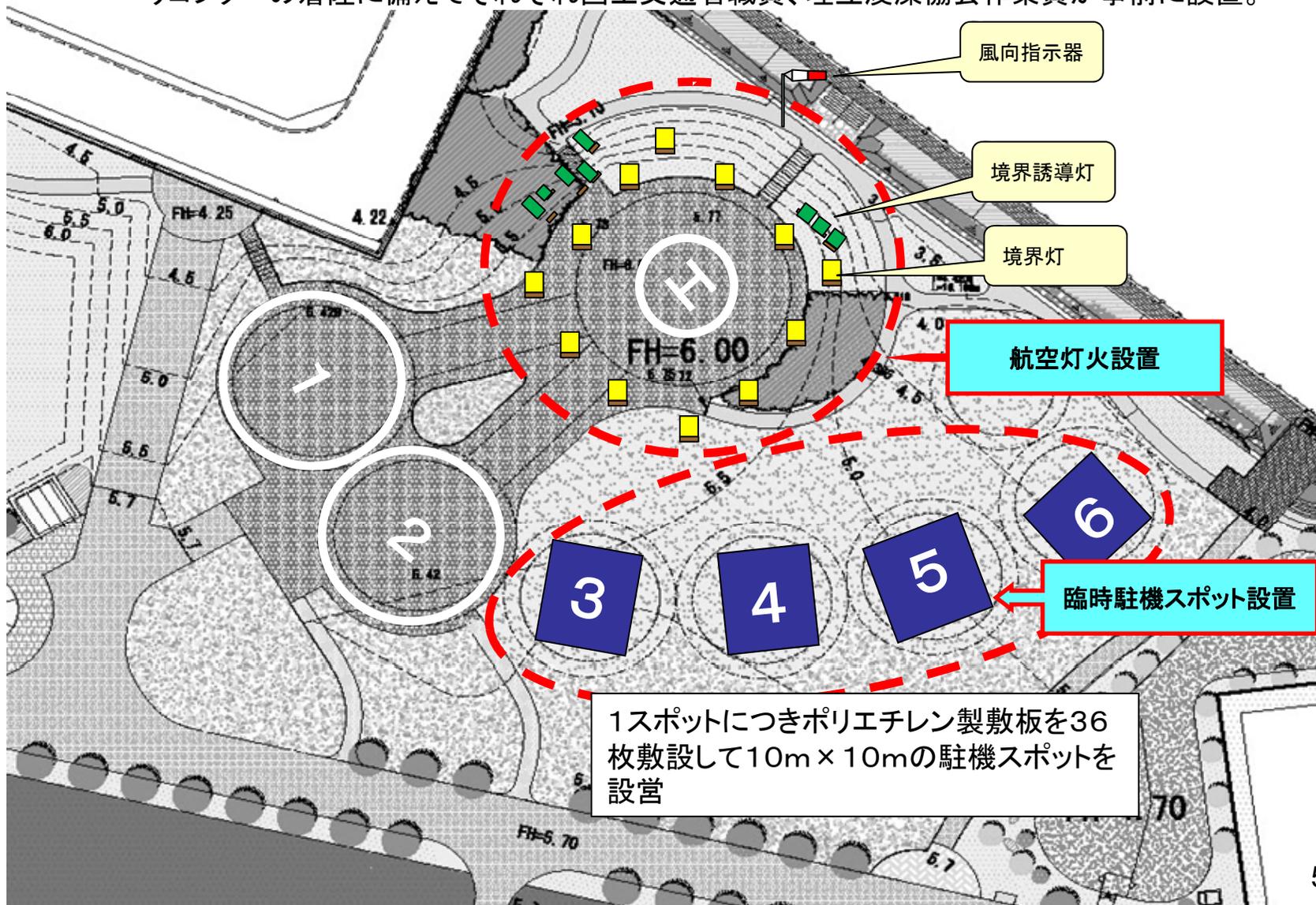
14:05頃～

東京電力川崎支社が停電中の施設に対して低圧発電車による応急送電訓練を実施する



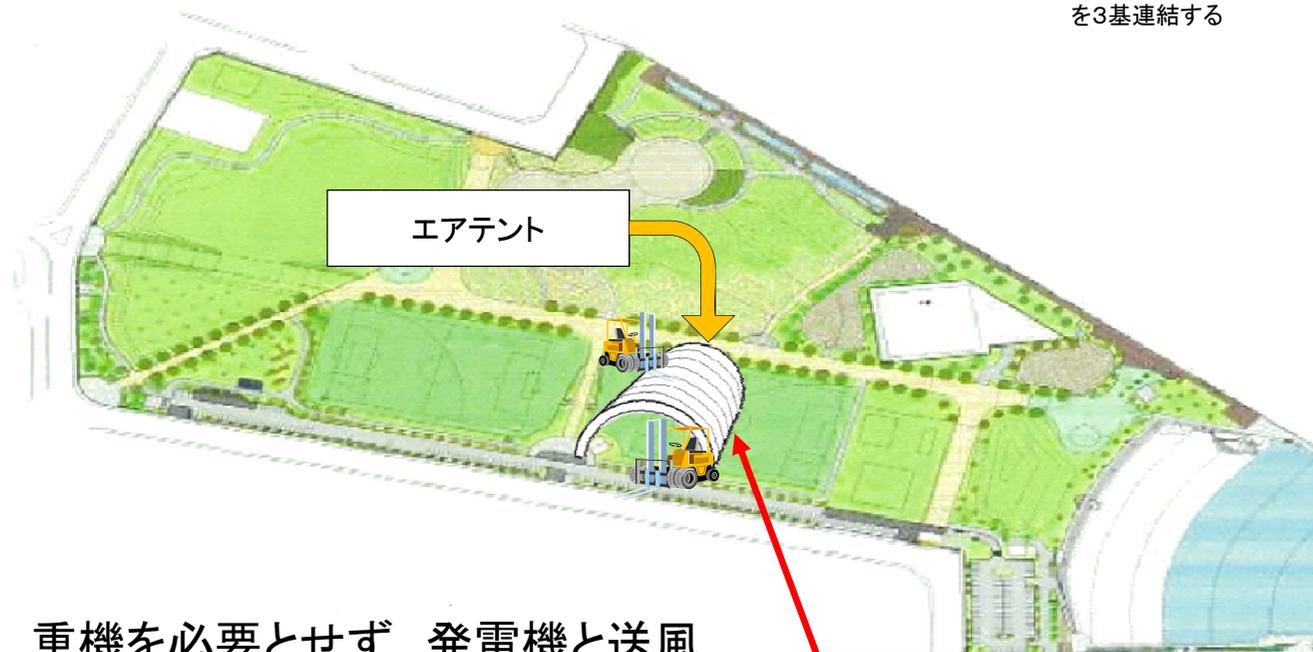
訓練番号⑥ ヘリコプター臨時駐機スポット及び航空灯火設置訓練(事前)

芝生エリアを臨時ヘリポートとして使用するため、航空灯火及び臨時駐機スポットを設置する訓練。
ヘリコプターの着陸に備えてそれぞれ国土交通省職員、埋立浚渫協会作業員が事前に設置。



訓練番号⑦ エアテント（緊急物資仕分け用）設営訓練（事前）

緊急物資を仕分けするエアテントを設営する訓練。
設営されたテント内においては協定に基づき川崎港運協会が物資の荷捌きを実施。



○エアテント設営
備蓄してあるエアテント
を3基連結する



予定の位置にエアテントを展開



エアテントに空気を入れ始める



膨らみ出したエアテント



エアテント設営完了

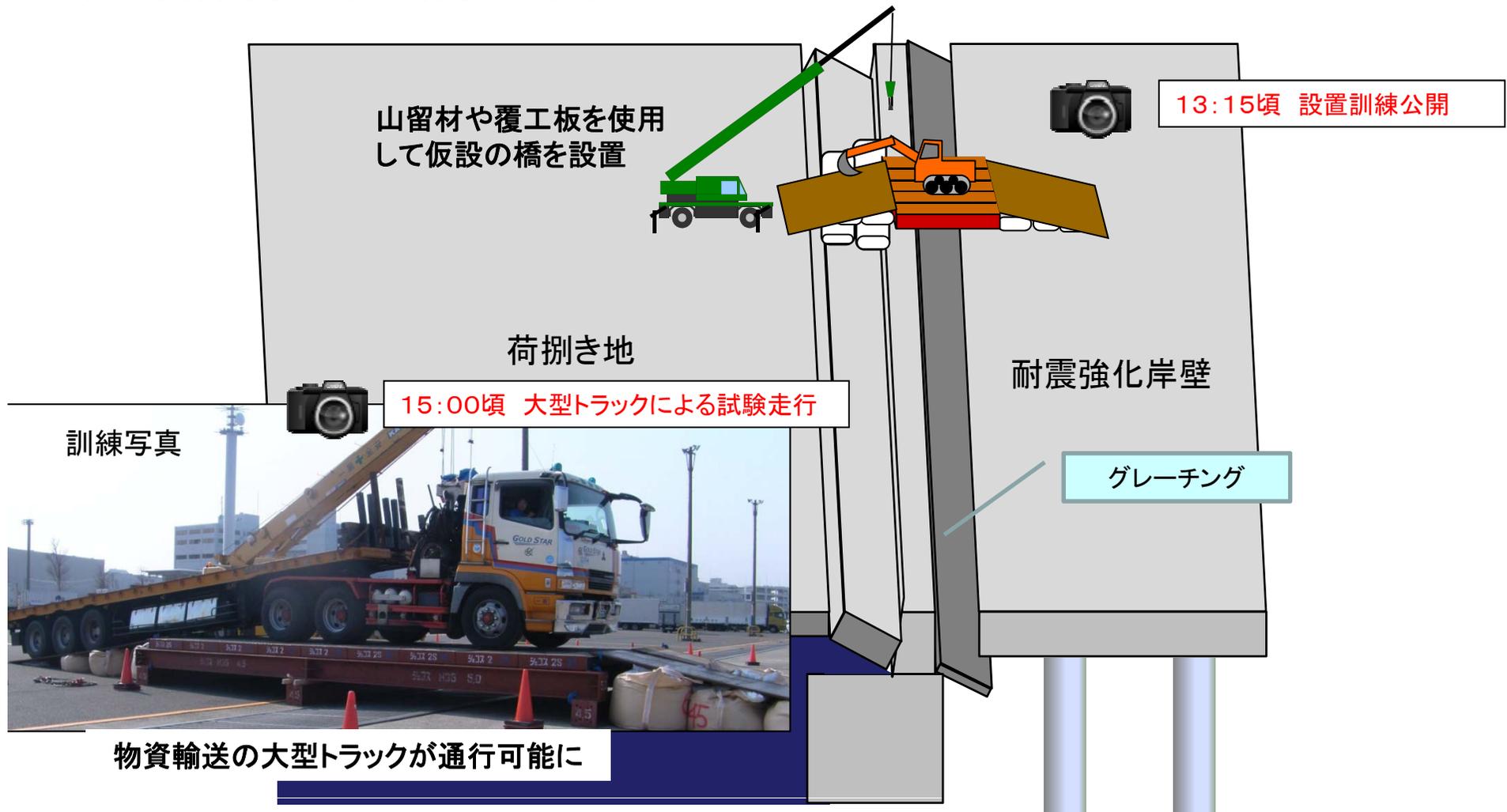
重機を必要とせず、発電機と送風機を使用して設営が可能

1基の大きさ：
縦20m×横10m 高さ6m

訓練番号⑧ 防災拠点応急復旧訓練 『仮設橋梁の設置』

2-1

地震によって耐震強化岸壁の背後のグレーチングが落下したり、背後が陥没したことを想定して、防災拠点に備蓄してある資機材で仮設の橋を設置する訓練



訓練番号⑧ 防災拠点応急復旧訓練
『液状化地盤の応急復旧』

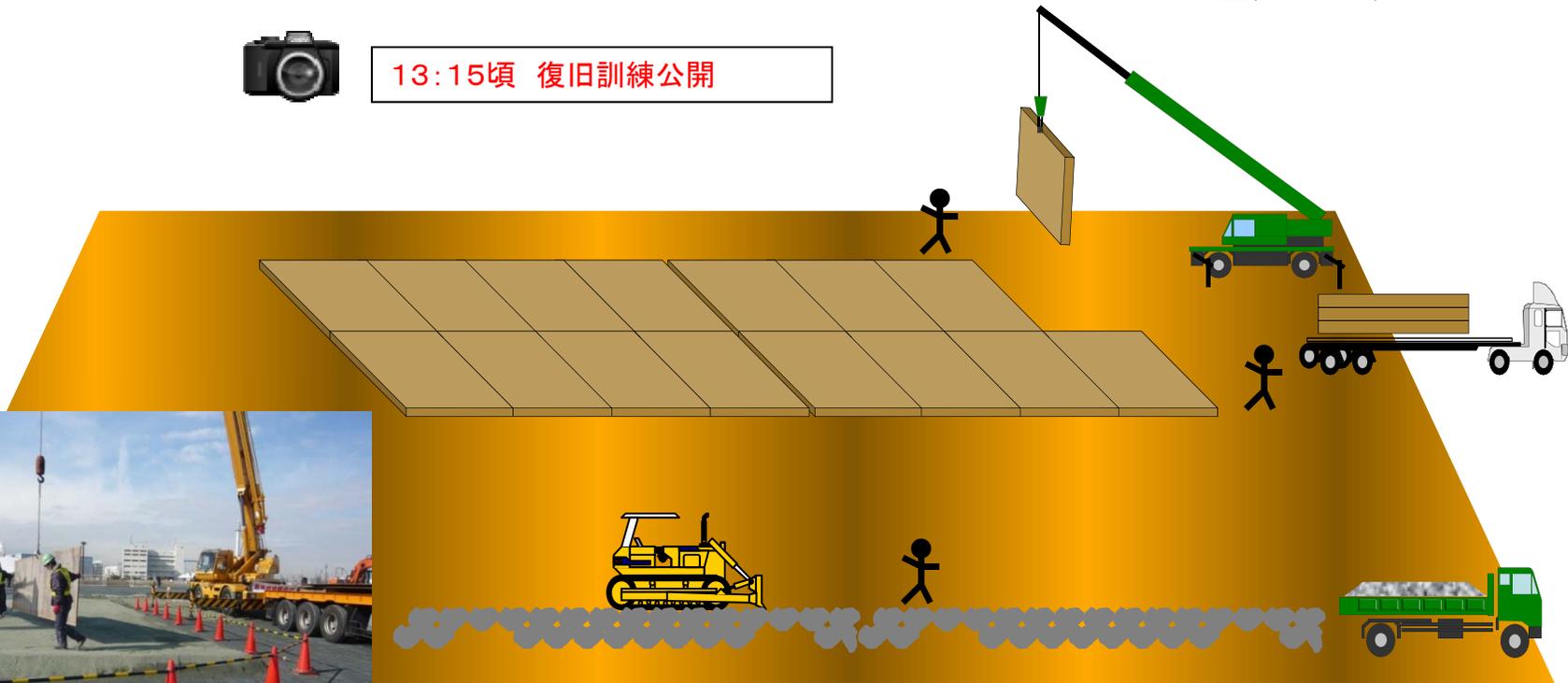
2-2

地震により防災拠点内荷捌き地(グラウンド)の地盤が液状化して不陸が発生、荷捌き等が不可能となったため、防災拠点に備蓄してある敷鉄板を敷設して応急復旧する



13:15頃 復旧訓練公開

クレーンによる大型敷鉄板敷設



液状化した地盤を整地後、敷鉄板を敷設

ブルドーザーでカラースクリーニングス(碎石の一種)を敷き均し

訓練番号⑨ 緊急物資海上輸送訓練

- ・【11:00頃 小松川リバーステーションに到着(早朝東扇島を出航)】東扇島防災拠点の舟運岸壁から小型船舶+台船により小松川リバーステーション(荒川)へ緊急物資を輸送。現地で陸揚げされた物資は陸上自衛隊、東京都トラック協会のトラックによって自治体の物資拠点へ搬送
- ・羽田空港の管理用棧橋から国交省東京港湾事務所の港湾業務艇「江戸」により江東区の有明客船ターミナルへ緊急物資を輸送
- ・海上自衛隊により運ばれてきた緊急支援物資を31号岸壁より陸揚げ



訓練番号⑩ 緊急物資航空輸送訓練

- ・羽田空港から陸上自衛隊(練馬・立川)のヘリコプター2機が緊急物資を輸送
- ・東扇島防災拠点から関東地方整備局のヘリコプターが横浜港みなとみらいヘリポートへ緊急物資を輸送
- ・東扇島防災拠点から横浜消防局のヘリコプターが有明防災拠点へ緊急物資(医薬品)を輸送



訓練番号⑪ 緊急物資一時保管訓練

- ・協定に基づき、緊急物資を防災拠点のテントから搬出し、東扇島内の神奈川倉庫協会加盟倉庫2社にて一時保管・荷捌き



訓練番号⑫ 津波避難訓練

津波警報発令により、公園来園者と川崎市立殿町小学校の生徒を、川崎臨港警察署が津波避難ビルである首都圏臨海防災センターへ避難誘導、警報解除後に東扇島から千鳥町岸壁まで船によって輸送する訓練。
川崎市港湾局の船舶「あおぞら」が参加



訓練番号⑬ 雨天時電源供給訓練

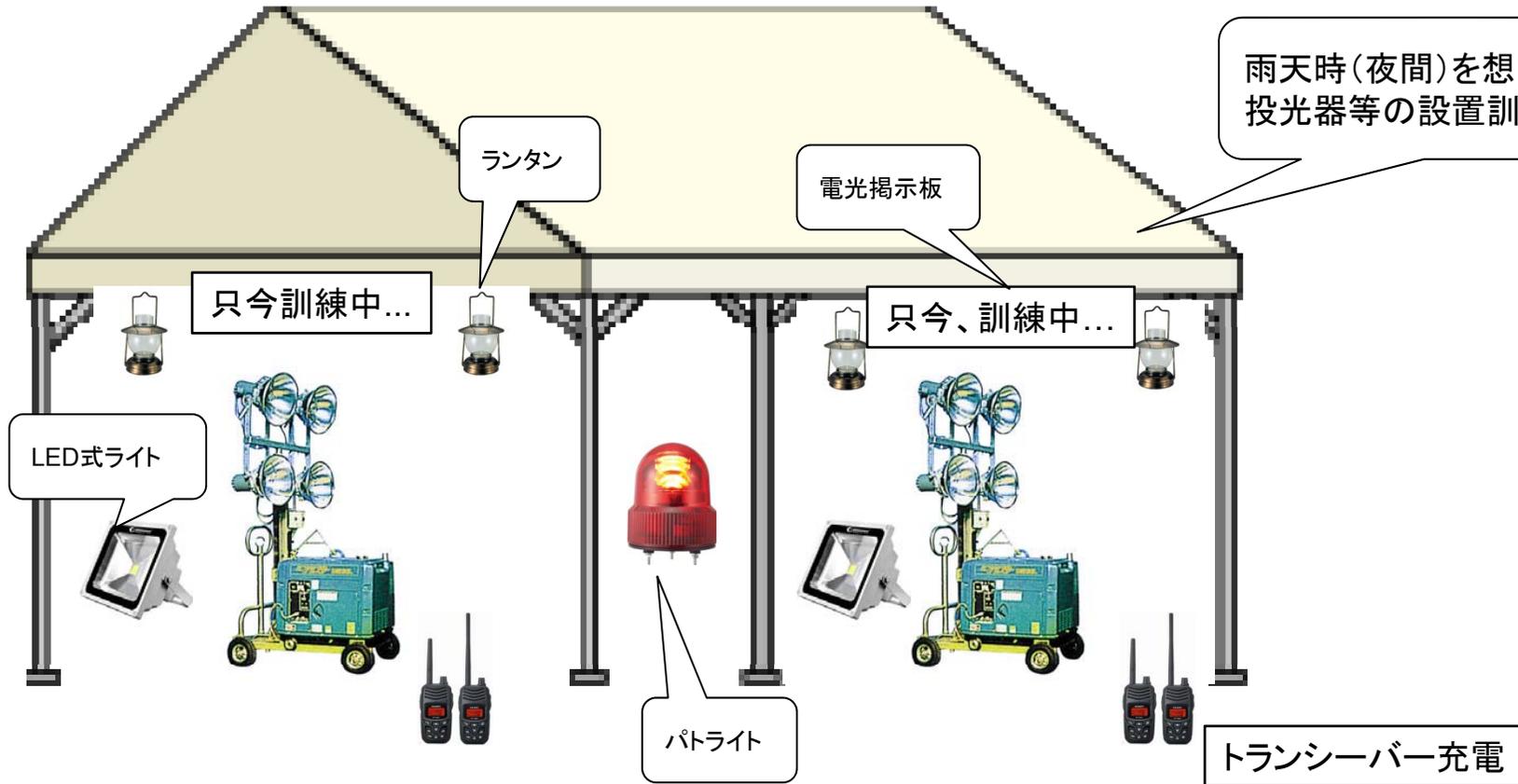


13: 45頃

- ・日本埋立浚渫協会の作業員が、雨天時を想定した電源供給訓練を実施する。



・投光器、タイコリール、LED照明器具、ランタン、トランシーバー、机をテントの中に設置する



訓練番号⑭ 防災関係車両展示

神奈川県警、川崎市消防局、海上災害防止センター、JAF、東京電力、国土交通省の防災車両などを展示します
○展示予定車両

神奈川県警



震災対応用活動車

J A F



レッカー車

海上災害防止センター



エアポート

東京電力



配電用緊急車

国土交通省



災害対策本部車

川崎市消防局



アスタコなど



積載車 ※JAF HPより



自走式ビーチクリーナー



低圧発電車



災害対策連絡車



海岸防除作業車両



高所作業車